

風力発電と農業との共生に向けた取組 ～熊本県阿蘇郡西原村の事例～

西原村が支援

民間風力発電所プロジェクト

県と事業者の間に入ってサポート

- ・法手続
- ・野外広告物の設置
- ・自然保護関係の取組 など

観光資源にも！

電力会社に全量売電

売電収益の一部を
管理作業に使用

管理費を地元
に還元

「下草刈り」

視察・観光客増加

売上アップ
風力運転開始(H17)

草原の維持

「野焼き」

「農産物直売所」

俵山交流館萌えの里

相乗効果

- ◇地域の離農率減少に貢献
- ◇農山漁村の多面的機能(美しい草原・農村景観)の維持に貢献

阿蘇にしはらむらウインドファーム
【発生電力量】

約2,510万kw 時／年

【一般家庭の年間
消費電力量に換算】

約7,100世帯分

【参考】西原村の世帯数

2,625世帯 (H27年11月)

<持続的な草原システム>

- 温暖湿潤な気候にありながら、野焼き、放牧、採草という農業生産活動により草原が維持されています。
- 広大な草原がもたらす草資源は、放牧、飼料、堆肥のほか、屋根材やバイオマス資源として使われています。

高齢化により
維持困難

景観維持のため積極的に
関わる人が増加

売上増加率(%)
(H17年度比)

H18	100%
H19	100%
H20	105%
H21	104%